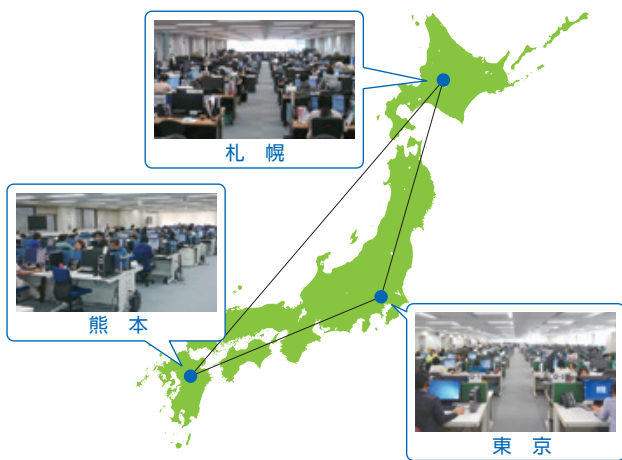


# トピックス

2015年4月以降の主なトピックスは以下のとおりです。

## 熊本コンタクトセンターでの業務開始 (2015年7月)

お客様サービスの一層の品質向上などを目的に熊本県熊本市に設置した「熊本コンタクトセンター」での業務を、2015年7月1日から開始しました。  
ソニー損保のコンタクトセンターは、お客様からの自動車保険や医療保険に関するお問合せ・ご相談に電話やメールで対応するほか、契約手続や契約後のケアなど、幅広いカスタマーサポート業務を担当しています。既存の東京コンタクトセンターおよび札幌コンタクトセンターと合わせた3センター体制により、お客様の待ち時間短縮やきめ細かな対応など、お客様サービス品質の一層の向上を図ります。



## 「トラブルナビ」のロードサービス呼出し機能を強化 (2016年1月)

万一の車の事故や故障などのトラブル時にその場での的確な行動をナビゲートするスマートフォン向けアプリ「トラブルナビ」の機能を強化し、電話でのロードサービス要請時に、トラブル現場の位置情報やトラブル箇所の写真などのデータを送付できるようにしました。  
この機能強化により、お客様の電話での説明のご負担を減らせることに加え、口頭による曖昧さを回避することができ、より正確かつスムーズにロードサービスを出勤させることが可能になりました。



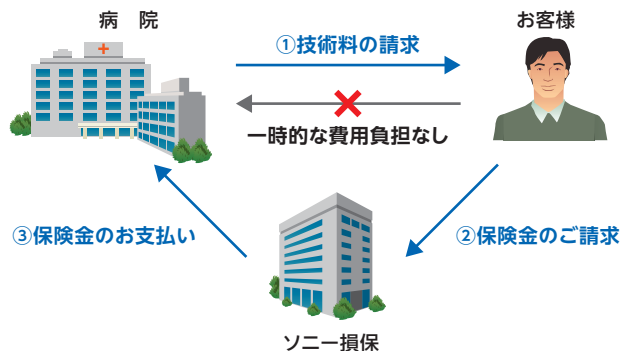
※「トラブルナビ」については、40ページをご参照ください。

## 先進医療保険金の医療機関あて直接支払サービスの開始 (2015年10月)

技術料が全額自己負担となる先進医療の中でも、特に高額となる「陽子線治療」および「重粒子線治療」について、ソニー損保から医療機関に直接保険金を支払うサービスを開始しました。  
先進医療は、公的医療保険が適用されていない新しい治療法のうち、厚生労働大臣が公的医療保険診療との併用を認めた医療技術で、技術料は全額自己負担となります。先進医療保険は、先進医療による治療を受けた場合に、技術料と同額を通算2,000万円まで保障するものですが、これまでは保険金支払にあたり、お客様に一時的に技術料を立替えていただく必要がありました。  
このサービスの開始により、陽子線治療および重粒子線治療における、お客様の一時的な経済的負担を軽減することができるようになりました。

### 【先進医療保険金のお支払いまでの流れ】

医療機関あて直接支払サービスを利用した場合



- ※ 当サービスのご利用は任意のため、お客様に先進医療保険金をお受取りいただくことも可能です。
- ※ 当サービスの対象となるのは、先進医療の「陽子線治療」と「重粒子線治療」の技術料のみです。そのほかの先進医療、および、入院・手術などの治療費等については、お客様から医療機関にお支払いいただく必要があります。
- ※ 当サービスのご利用にあたっては一定の条件があるため、お客様には、治療開始前にソニー損保にお問合せいただく必要があります。

## オートキャンプ場マップの公開 (2016年4月)

車で乗り入れができ、車ならではのアウトドアが楽しめることが魅力のオートキャンプについて、多くのお客様にお役立ち情報を提供できるよう、日本全国のオートキャンプ場情報を検索できる「オートキャンプ場マップ」を公開しました。  
オートキャンプ場マップでは、日本全国にあるオートキャンプ場の基本情報のほか、アクセス方法や周辺アクティビティなどの情報を掲載しており、スマートフォンからでもスムーズに検索することができます。

